

(7) 財団法人 とっとりコンベンションビューロー経営状況報告書

一 法人の概要

- | | |
|-----------|--|
| 1 名 称 | 財団法人 とっとりコンベンションビューロー |
| 2 目 的 | 鳥取県の有する優れた自然、歴史的・文化的資源を生かし、コンベンションの誘致・支援等を行うことにより、鳥取県におけるコンベンションの振興を図り、もって県内産業の振興、地域の活性化、国際的な相互理解の増進及び文化の向上に寄与することを目的とする。 |
| 3 設立許可年月日 | 平成7年7月7日 |
| 4 設立登記年月日 | 平成7年7月7日 |
| 5 基 本 財 産 | 出えん金 972,142,000円
鳥取県出えん金 500,000,000円
4市出えん金 250,000,000円
そ の 他 222,142,000円 |
| 6 役 員 | 理 事 20人 監 事 2人
理 事 長 永 瀬 正 治 (米子商工会議所会頭)
副理事長 井 藤 久 雄 (国立大学法人鳥取大学副学長)
専務理事 長谷川 泰 二
理 事 谷 口 博 繁 (鳥取環境大学常務理事)
" 山 根 昭 彦 (氷温学会専務理事)
" 柴 田 英 杞 (財団法人鳥取県文化振興財団副理事長)
" おそど まさこ (社団法人鳥取県観光連盟観光プロデューサー)
" 川 上 優 (西日本旅客鉄道株式会社執行役員米子支社長)
" 福 本 有希子 (有限会社白扇専務取締役)
" 清 水 雅 文 (有限会社モリサキ代表取締役)
" 野 坂 道 明 (有限会社ランドワーク代表取締役)
" 澤 健 一 (有限会社アーキテック代表取締役)
" 澤 耕 司 (日本交通株式会社常務取締役)
" 吉 田 圭 子 (株式会社赤瓦取締役)
" 吉 野 立 (田園プロジェクト代表) |

理事 衣笠克則（鳥取県文化観光局長）

” 大西康隆（鳥取市経済観光部長）

” 深田佳洋（倉吉市産業部長）

” 矢倉敏久（米子市経済部長）

” 足立一男（境港市産業環境部長）

監事 高橋敬一（有限会社高橋会計事務所代表取締役社長）

” 景里和夫（米子市会計管理者）

7 職員 25人（うち県派遣職員 1人）

8 事務所 米子市末広町294番地

二 平成18年度事業実施状況

1 組織体制の強化

総務企画課にあった企画部門を分離し誘致課に統合した。事業担当として総動員体制をとり、誘致・企画事業に取り組んだ。

2 コンベンションの誘致及び支援事業

県外のコンベンション主催者及び県内の大学・団体・行政等の関係者に対し誘致セールスを行うとともに、県内で開催されたコンベンションに対する開催費の助成やパンフレットの提供、コンベンションボランティアの派遣など、各支援サービスを提供した。

また、鳥取県人会、高等学校同窓会等へ出席し、コンベンションの鳥取県開催についての情報交換、協力要請を行った。

3 コンベンションの調査及び企画事業

コンベンション開催意向調査・参加者アンケート等の情報収集、経済的波及効果の推計調査を行うとともに、県民にコンベンションの有用性を広く知ってもらうためのコンベンションまつりを中部で開催した（平成16年度は西部、平成17年度は東部で開催）。

また、県内主催者のコンベンションの開催意欲の醸成を目的として、事務局運営に関する知識やノウハウについて企画から準備まで時系列に理解できるコンベンション開催マニュアルを作成した。

4 広報及び宣伝事業

機関紙の発行、広報記事の掲載、ホームページ上での情報提供等、各種広報宣伝活動を展開した。

5 米子コンベンションセンターの管理運営に関する事業

(1) 管理運営について

利用者ニーズに即応したサービス体制の強化と会館利用日数の増加を図り、広報活動を通じて利用促進の拡充を行ったほか、外部委託の点検項目・作業内容等の見直しを行い、効率的かつ安全で清潔な施設づくりを推進した。

また、経営強化プロジェクトを立ち上げ、各課横断による施設運営強化チーム・営業企画強化チーム・地域貢献活動チームを結成した。それぞれの課題や提案を検討を行い、会館運営を強化するとともに展示・興行を対象としたセールス活動やアフターフォローの充実を図った。

さらに自主企画事業を行い、集客と交流から創客と創流につなげた取り組みを行った。

< 自主企画事業 >

- ・演劇ワークショップ（5月）
- ・情報プラザミニ展示会（6月）

- ・スタインウェイピアノの秘密を探る講座（６月）
- ・ビッグシップ・ナイトクルージング（９月、１２月、３月）
- ・ビッグシップ探検ツアー（２月）

(2) 平成１８年度における代表的な大規模催事

- ・スリーサム・イン・米子学会（７月６日～１０日）
- ・全日本トライアスロン皆生大会開閉会式（７月１４日～１７日）
- ・第１５回日本定位放射線治療学会（７月２０日～２２日）
- ・２００６ゼオライトとマイクロポーラス液晶に関する国際シンポジウム（７月３０日～８月２日）
- ・第３２回部落解放・人権確立鳥取県研究集会（８月７日～９日）
- ・第３回医療マネジメント学会・鳥取地方会（９月１日～２日）
- ・第２２回放射線技師総合学会・第３回日韓台合同学会大会（１０月５日～９日）
- ・日本人類遺伝子学会第５１回大会（１０月１７日～２０日）
- ・第１９回全国スポーツレクリエーション大会（１０月２１日～２２日）
- ・第２９回日本小児遺伝学会学会集会（１０月２０日～２１日）
- ・第４回鳥取県総合芸術文化祭「平成の芝居小屋朝日座事業」（１１月８日～１４日）
- ・第１１２回西日本整形災害外科学会（１１月１７日～１９日）
- ・日本頭痛学会総会（１１月２３日～２５日）
- ・山陰中核地域ものづくりフェア２００６（１２月５日～１１日）
- ・平成１８年度確定申告（２月１５日～３月１５日）

財団法人 とっとりコンベンションビューロー
貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

(一般会計)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流動資産	20,271,398	負 債	20,271,398
1 現金預金	19,352,580	1 流動負債	20,271,398
(1) 普通預金	19,352,580	(1) 未払金	3,009,652
2 未収金	918,818	(2) 預り金	17,261,746
固定資産	973,257,692	正味財産	973,257,692
1 基本財産	972,142,000	(うち基本金)	(972,142,000)
(1) 基本財産預金	61,763,600	(当期正味財産減少額)	(560,896)
(2) 基本財産投資有価証券	910,378,400		
2 その他の固定資産	1,115,692	・	
(1) 車両運搬具	303,229		
(2) 什器備品	123,253		
(3) ソフトウェア	464,258		
(4) 電話加入権	224,952		
合 計	993,529,090	合 計	993,529,090

財団法人 とっとりコンベンションビューロー
収 支 計 算 書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(センター特別会計)

	科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
収 入	事業活動収入	333,371,000	316,672,354	16,698,646	
	1 管理運営事業収入	86,192,000	98,195,180	12,003,180	
	(1) 施設利用料収入	86,192,000	98,195,180	12,003,180	
	2 補助金等収入	240,270,000	211,838,129	28,431,871	
	(1) 県受託事業収入	120,135,000	91,703,129	28,431,871	
	(2) 米子市受託事業収入	120,135,000	120,135,000	0	
	3 雑収入	6,909,000	6,639,045	269,955	
	(1) 光熱水費割当収入	5,007,000	4,668,842	338,158	
	(2) テナント収入	1,772,000	1,744,144	27,856	
	(3) 雑収入	130,000	226,059	96,059	
	当期収入合計(A)	333,371,000	316,672,354	16,698,646	
	前期繰越収支差額	0	0	0	
	収入合計(B)	333,371,000	316,672,354	16,698,646	
支 出	事業活動支出	333,371,000	302,206,082	31,164,918	
	1 管理費支出	98,274,000	91,625,809	6,648,191	
	(1) 職員給与費	98,274,000	91,625,809	6,648,191	
	2 事業費支出	229,897,000	205,380,273	24,516,727	
	(1) 施設運営事業費	228,897,000	204,484,819	24,412,181	
	(2) 企画事業費	1,000,000	895,454	104,546	
	3 他会計への繰入金支出	5,200,000	5,200,000	0	
(1) 地域振興事業基金特別 会計への繰入金支出	5,200,000	5,200,000	0		
	当期支出合計(C)	333,371,000	302,206,082	31,164,918	
	当期収支差額(A) - (C)	0	14,466,272	14,466,272	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	0	14,466,272	14,466,272	

財団法人 とっとりコンベンションビューロー
貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

(センター特別会計)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流動資産	74,735,736	負 債	60,269,464
1 現金預金	68,121,607	1 流動負債	60,269,464
(1) 現金	265,120	(1) 未払金	24,144,244
(2) 普通預金	67,856,487	(2) 前受金	5,707,180
2 未収金	6,614,129	(3) 預り金	30,418,040
		正味財産	14,466,272
		(当期正味財産増加額)	(14,466,272)
合 計	74,735,736	合 計	74,735,736

財団法人 とっとりコンベンションビューロー
収 支 計 算 書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(地域振興事業基金特別会計)

科 目		予算額	決算額	差 異	備 考
入		円	円	円	
	事業活動収入	5,200,000	5,200,000	0	
	1 他会計からの繰入金収入	5,200,000	5,200,000	0	
	(1) センター特別会計からの繰入金収入	5,200,000	5,200,000	0	
	当期収入合計(A)	5,200,000	5,200,000	0	
	前期繰越収支差額	0	0	0	
	収入合計(B)	5,200,000	5,200,000	0	
支					
	投資活動支出	5,200,000	5,200,000	0	
	1 基本財産取得支出	5,200,000	5,200,000	0	
	(1) 基金取得支出	5,200,000	5,200,000	0	
	当期支出合計(C)	5,200,000	5,200,000	0	
	当期収支差額(A) - (C)	0	0	0	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0	

財団法人 とっとりコンベンションビューロー
貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

(地域振興事業基金特別会計)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
固定資産	5,200,000	正味財産	5,200,000
1 特定資産	5,200,000	(当期正味財産増加額)	(5,200,000)
(1) 地域振興事業基金預 金	5,200,000		
合 計	5,200,000	合 計	5,200,000

三 平成19年度事業計画

1 基本方針

当財団を取り巻く環境は、コンベンション誘致の都市間競争の激化、米子コンベンションセンターに対する指定管理者制度の導入、公益法人のあり方の抜本的な改革など大きな変動のうねりのなかにある。

当財団においては、限られた予算・人員で財団本来の目的を最大限に達成するために、既存事業の見直しをはじめ、強みとなる分野への経営資源の集中など、「戦略的な財団運営」に取り組むものである。

- (1) 誘致・開催支援活動の拡充
- (2) コンベンション受け入れ態勢の強化
- (3) 情報発信力の強化
- (4) 米子コンベンションセンターの管理運営
- (5) 米子コンベンションセンター地域振興事業基金による事業

2 主要事業

(1) 誘致・開催支援活動の拡充

県内開催コンベンションの基軸である学術会議の誘致を充実させるとともに、企業コンベンションの分野にマーケットを拡大した誘致活動を展開する。

誘致セールス事業

首都圏を中心に各種団体への誘致セールスを行うとともに、県内のキーパーソンを訪問し、コンベンションの鳥取県誘致を要請する。

誘致促進事業

首都圏での誘致懇談会の開催、鳥取県人会等との人脈形成及び県内各種団体への訪問などを行い、コンベンションの鳥取県開催についての情報収集及び協力要請を行う。

誘致データベース更新事業〔新規〕

平成8年度に構築した主催者情報や大会情報等の誘致活動の基礎となるデータベースに条件検索や抽出印刷などの機能をもたせるようプログラムを更新する。

開催支援事業

鳥取県開催コンベンションの円滑な運営を支援するため、主催者への財的・物的支援や情報の提供等を行う。

(2) コンベンション受入体制の強化

コンベンション都市としての魅力と能力を高めるため、地元主催者のコンベンション開催スキルの向上、参加者の満足度を高める地域資源の掘り起こしなどを行う。

コンベンション事務局運営支援事業

知識や経験・人材不足のためにコンベンションの県内開催を躊躇している県内団体に対して、当財団が事務局ノウハウや企画の組み立て方をアドバイスすることにより、鳥取県開催のコンベンションを誘発する。

コンベンションおもてなしマニュアル作成事業〔新規〕

鳥取県ならではの魅力ある素材（レセプション、料理、アトラクション、視察、観光）を地域ごとにピックアップして主催者に活用法を提案していく。

(3) 情報発信力の強化

コンベンション主催者に対する情報発信を強化するとともに、コンベンションを受け入れる側の意識向上を図るため、県民や関係業界に対する情報発信を充実させる。

コンベンション誘致情報の発信

ホームページやパンフレット等を充実強化して、コンベンション開催支援制度や県内のコンベンション施設、宿泊、飲食、観光などの情報を、主催者に的確かつタイムリーに提供する。

コンベンション啓発情報の発信

財団機関誌やマスコミ発表等を通じて、コンベンションの意義や地域振興への効果や財団の活動状況などを、県民や関係業界に広く情報発信する。

(4) 米子コンベンションセンターの管理運営

管理運営の基本姿勢

米子コンベンションセンターが地域住民に愛され、より多くの皆さんに来館していただける施設作りを目指し、地域の応援団として地域と共に発展を続ける管理運営を目指す。

管理運営の方針・内容

ア 利用者・来館者の拡大と利用率アップを図る。

- ・施設の特色を積極的にPRし、利用者の拡大を図る。
- ・会館・設備を広く知っていただく仕掛けづくりを行う。
（ビッグシップ探検ツアー、スタインウェイの秘密を探る講座）
- ・利用形態に合わせたセットプラン等の提案で利用率アップを図る。
- ・情報プラザの利便性を高め、展示スペースとしての利用の増加を図る。
- ・NPO団体等への活動支援を行い、来館者の拡大を図る。

イ 顧客満足度の向上と複合的なサービスが提供できる施設作りの推進

- ・利用者のニーズにあった備品の充実と、施設・設備の早期改修・改善を図る。
- ・委託管理者と連携し、安全・快適・清潔な施設づくりを推進する。
- ・利用者のニーズ・クレームに対して迅速かつ効果的な対応を図る。

- ・危機管理体制の強化により、安心度の高い施設作りを行う。
- ・チケットセンターの機能を備え、サービス向上と収入増を目指す。
- ・総合的なマネージメントが出来る体制を強化する。

ウ オンリーワンの指定管理者を目指し、組織力の強化を図る。

- ・経営の健全化と効率化に引き続き取り組み、経費の見直しを図る。
- ・各課協働でのセールス体制を整備する。
- ・職員のマネージメント能力開発と専門的な人材育成を図る。

(5) 「米子コンベンションセンター地域振興事業基金」による事業

地域のコンベンション振興に資する事業

<利用団体支援事業>

- ・概要 米子コンベンションセンターで開催するコンベンションの主催者に対する助成制度を設け、同館を活用したコンベンションの振興を図る。
- ・対象コンベンション 多目的ホール、国際会議場、小ホールを一定期間以上利用
- ・助成内容 助成金の交付、供花等の物的支援（合計で会場使用料金の5%程度）

地域のにぎわい創出に資する事業

<にぎわい創出事業>

平成19年度は該当なし。平成20年度「ビッグシップ祭り」実施に向け準備を行う。

地域の文化活性化に資する事業

<文化活性化事業>

ア ナイトクルージング

- ・概要 地域で活動を続けるアマチュア音楽家を紹介するコンサートを開催し、地域住民が気軽に音楽に触れる場を提供するとともに、地元音楽家の活動を支援する。
- ・会場 米子コンベンションセンター 多目的ホールホワイエ
- ・開催回数 年間4回
- ・客席数/回 250席

イ 情報プラザミニ展示会

- ・概要 地域で活動する写真・絵画・陶芸等の展示系文化団体に作品展示の場を提供し、地域住民に広く紹介するとともに、地元アーティストの活動を支援する。
- ・会場 米子コンベンションセンター 情報プラザ
- ・開催回数 年1回、3週間の展示期間

・展示団体 公募により3団体を選出

ウ その他文化活性化事業

・概要 地域の各種文化活動者等と協議して、文化の活性化にふさわしい事業をタイムリーに企画・実施する。

財団法人 とっとりコンベンションビューロー
収 支 予 算 書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(一般会計)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
事業活動収入	89,785	113,449	23,664	
1 基本財産運用収入	15,628	15,628	0	
(1) 基本財産利息収入	15,628	15,628	0	
2 会費収入	3,200	3,200	0	
(1) 賛助会員会費収入	3,200	3,200	0	
3 補助金等収入	70,957	85,732	14,775	
(1) 県補助金収入	35,479	42,867	7,388	
運営費補助金収入	25,429	23,679	1,750	
コンベンション開催 助成費収入	10,050	19,188	9,138	
(2) 市町村補助金収入	35,478	42,865	7,387	
運営費補助金収入	25,428	23,678	1,750	
コンベンション開催 助成費収入	10,050	19,187	9,137	
負担金収入	0	8,889	8,889	
県負担金収入	0	8,889	8,889	
入				
当期収入合計(A)	89,785	113,449	23,664	
前期繰越収支差額	0	0	0	
収入合計(B)	89,785	113,449	23,664	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
事業活動支出	89,785	113,449	23,664	
1 管理費支出	50,324	53,750	3,426	
(1) 職員給与費	42,892	45,399	2,507	
(2) 会議費	643	986	343	
(3) 事務局費	6,789	7,365	576	
2 事業費支出	39,461	59,699	20,238	
(1) 誘致事業支出	14,090	14,075	15	
(2) 調査企画事業支出	1,365	3,336	1,971	
(3) 広報宣伝事業支出	3,906	3,913	7	
(4) コンベンション開催助 成費	20,100	38,375	18,275	
支 出				
当期支出合計(C)	89,785	113,449	23,664	
当期収支差額(A) - (C)	0	0	0	
次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0	

財団法人 とっとりコンベンションビューロー
収 支 予 算 書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(センター特別会計)

	科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
収 入	事業活動収入	319,308	333,371	14,063	
	1 管理運営事業収入	90,000	86,192	3,808	
	(1) 施設利用料収入	90,000	86,192	3,808	
	2 補助金等収入	221,388	240,270	18,882	
	(1) 県受託事業収入	121,253	120,135	1,118	
	(2) 米子市受託事業収入	100,135	120,135	20,000	
	3 雑収入	7,920	6,909	1,011	
	(1) 光熱水費割当収入	5,050	5,007	43	
	(2) テナント収入	1,756	1,772	16	
	(3) 雑収入	1,114	130	984	
	当期収入合計(A)	319,308	333,371	14,063	
	前期繰越収支差額	14,466	0	14,466	
	収入合計(B)	333,774	333,371	403	
	支 出	事業活動支出	328,774	333,371	4,597
1 管理費支出		94,070	98,274	4,204	
(1) 職員給与費		94,070	98,274	4,204	
2 事業費支出		225,238	229,897	4,659	
(1) 施設運営事業費		225,238	228,897	3,659	
企画事業費		0	1,000	1,000	
3 他会計への繰入金支出		9,466	5,200	4,266	
(1) 地域振興事業基金特別 会計への繰入金支出		9,466	5,200	4,266	
予備費支出		5,000	0	5,000	
当期支出合計(C)		333,774	333,371	403	
当期収支差額(A) - (C)	14,466	0	14,466		
次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0		

財団法人 とっとりコンベンションビューロー

収 支 予 算 書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(地域振興事業基金特別会計)

	科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
収 入	事業活動収入	41,397	5,200	36,197	
	1 管理運営事業収入	1,500	0	1,500	
	(1) 入場料収入	1,500	0	1,500	
	2 補助金等収入	28,431	0	28,431	
	(1) 県補助金収入	28,431	0	28,431	
	3 協賛金収入	2,000	0	2,000	
	(1) 協賛金収入	2,000	0	2,000	
	4 他会計からの繰入金収入	9,466	5,200	4,266	
	(1) センター特別会計からの繰入金収入	9,466	5,200	4,266	
	投資活動収入	10,700	0	10,700	
1 基本財産取崩収入	10,700	0	10,700		
(1) 基金取崩収入	10,700	0	10,700		
	当期収入合計(A)	52,097	5,200	46,897	
	前期繰越収支差額	0	0	0	
	収入合計(B)	52,097	5,200	46,897	
支 出	事業活動支出	14,200	0	14,200	
	1 事業費支出	14,200	0	14,200	
	(1) 利用団体支援事業費	2,000	0	2,000	
	(2) 文化活性化事業費	12,200	0	12,200	
	投資活動支出	37,897	5,200	32,697	
1 基本財産取得支出	37,897	5,200	32,697		
(1) 基金取得支出	37,897	5,200	32,697		
	当期支出合計(C)	52,097	5,200	46,897	
	当期収支差額(A) - (C)	0	0	0	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0	